

カンボジアの都市計画について

by

Sok Vanna

プログラムマネージャー

UN-HABITATカンボジア

Expert Group Meeting

28 – 29 Nov 2012

Fukuoka, Japan

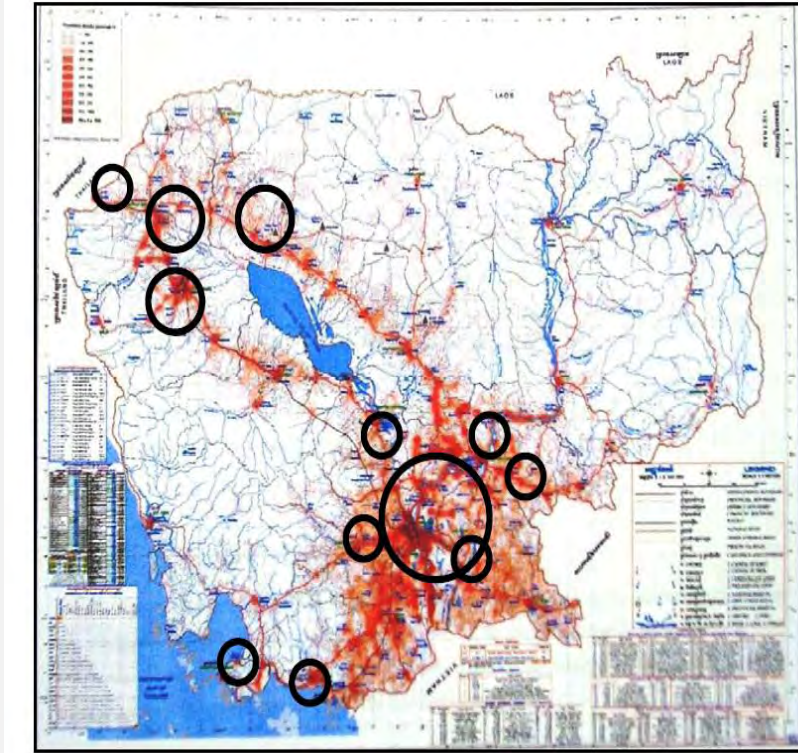
カンボジア王国の概要

- 面積: 181,035 Km²
- 行政区: 24(23の州と1つの特別市)
- 人口: 1,450万人 (2011)
- 人口密度: 84人/Km²
- 年間成長率: 1.34%
- 貧困率: 26% (2011)
- 1人当たりの年間所得:
901米ドル (2011)
- 気候: 熱帯性気候
乾季(11月~4月)と雨季(5月~10月)
- 水源: 豊富
しかし、気候変動には脆弱で頻発する極度の干ばつや
洪水に見舞われている。



カンボジアにおける都市化

- 高い都市化率: 総人口の27%
- 急速な都市の経済成長:
国民経済の50%~70%
- 農村から都市への移住者の多くが
非熟練労働者:
首都プノンペンに仕事を求めて移住した
人の50%が非熟練労働者
- 無計画な都市成長と土地利用:
首都プノンペンへの一極集中
- 都市統治の問題:
協議と参加の欠如、
透明性と説明責任の欠如
- 貧困層へのサービス不足のしわ寄せ:
都市部に多くある貧困層の集落では、強制退去も多く行われている。



都市部での取組み

- プノンペン首都地域に偏重したインフラ投資を行っても、インフラ整備が都市の加速度的な成長に追いついていない。
- 国家レベルの都市開発と住宅政策、自治体の創設が行われるなどの取組みが行われているが、それでも国民の感覚的には都市の成長速度に追いついていないという印象がある。
- 自治体での問題は主に都市の成長の速さと組織の成長の遅さのギャップから生じ、行政の能力向上において相当な課題を残す。4つの主要な問題は、制度上の欠陥、都市部門の統合不足、不完全な情報管理、不十分な都市金融である。
- 都市インフラ(道路、上水道、固形廃棄物の収集、衛生)は、かなり改善されている。

持続可能な都市開発

- 都市には基本計画や土地利用計画は不可欠
- 持続可能な都市開発は、基本的なインフラ整備、経済インフラ、住民の生活向上に役立つ必要がある。
- 投資の優先順位は以下の通り。
 - (i) 道路
 - (ii) 上水道
 - (iii) 下水道
 - (iv) 洪水対策
 - (v) 廃棄物管理
 - (vi) 公設市場
 - (vii) 都市部の貧困層の生活改善をサポートする少額融資(マイクロクレジット)
- 都市部門、特に新しく設立された自治体では、国家レベルや地域レベルでの組織的、政策的な支援を必要としている。



ご静聴ありがとうございました。



持続可能な都市の構築は、私達の幸福に不可欠です。